

エビデンス提出に関する注意事項

【エビデンス】

番号	項目	説明
1	エビデンスとは	CPD ポイントの取得対象となる活動を証明するもの CPDに参加登録日以降の履歴を登録してください。 参加登録日以前の履歴は登録できません。
2	添付可能なファイル形式	「PDF ファイル」、「Jpeg 画像ファイル」のみとなります。 (「*.pdf」と、「*.jpg」ファイル)
3	添付可能なファイルサイズ	最大 3MB (メガバイト)です。 3MB を越えるサイズのファイルを添付した場合、エラーとなります。 文書のページ数又、画像サイズ等を調整して 3MB 以下のサイズに調整願います。
4	個人情報に関する事項	生年月日、顔写真、住所、個人番号などの個人情報を提出しないでください。表示がある場合は、必ずマスキング(墨消し)等の見えない処置をしてからご提出ください。これらの情報が未処理のまま提出した場合は、否認とさせていただきます。

【注意事項】

番号	項目	説明
1	複数日の開催による催し物の申請について	複数日にわたる場合は、1日単位で分けて申請すること。 1日単位で休憩時間を除く実聴講時間の合計を記入してください。 記入例 催し物名／初級技術者のための研修会 記載期間／4月14日(月)から4月18日(金)の5日間 ★開催日ごとに申請すること 仮に1日の講義内容 10:00-12:00 講演 A 2時間 12:00-13:00 休憩／申請対象外 13:00-14:30 講演 B 1時間30分 14:30-15:00 休憩／申請対象外 15:00-16:30 講演 C 1時間30分 講義 A～C を合計し、5時間で申請する ★講義ごとの申請は否認とする。
2	催し物(セミナー、講習会、講演会等)に参加し、SHASE-CPDポイント表における「I.技術情報吸収等」として申請する場合	①開催日時及び実講習時間(休憩時間を除く)、プログラムが明記された書類に、直筆で署名しエビデンスとしてご提出し、 実講習時間を申請 してください。 ②上記①の提出が出来ない場合は、配付された資料等に、開催日時及び実講習時間(休憩時間を除く)、プログラムを明記し、直筆で署名しエビデンスとしてご提出し、 実講習時間

		<p>を申請してください。</p> <p>なお、参加者限定のものは対象外になります。</p>
3	執筆をした場合	<p>本の表紙と目次をコピーし執筆箇所を明示頂き、執筆した箇所の一部(A4 版1枚)とともに提出してください。</p>
4	英文の場合	<p>【Step2】主催者に提出先、研修テーマに論文名称、内容に要約を記入し、提出先、論文名称、内容がわかる書類(A4 版1枚)を提出してください。</p> <p>半角、全角に関係なく記載の文字数しか入力出来ません。</p>
5	日本語以外のエビデンスで登録する場合	<p>タイトルならびに内容を日本語で 200 字以内に要約して提出してください。</p>
6	自己学習、実務経験を登録される場合	<p>当会ホームページの「SHASE-CPD(登録履歴)」をクリックし、「各種書式ダウンロード」から該当する用紙をダウンロードしご記入のうえ提出してください。</p> <p>★留意事項 自己学習レポート用紙(学会誌購読用)は、1号につき1ポイント(同一誌で複数認定不可)。 業務経験レポートには、未公表業務は、建物名・詳細住所を記入しないでください。</p>
7	査読した場合	<p>上記 5 の手順に従い「論文など査読に関するエビデンス」をダウンロードしご記入のうえ提出してください。</p>
8	受賞した場合	<p>表彰の通知等を提出してください。氏名が記入されていない場合は直筆で署名したものをご提出してください。</p>
9	学協会における研究委員会等 に出席した場合	<p>委員会名、開催日時、出欠がわかる箇所をコピーして提出してください(注:議事内容は必要ありません)。 また、委員長・主査・幹事等の場合(1時間あたり2ポイント取得として申請する場合は、役職がわかる資料をご提出ください)。</p>
10	海外事業で成果を上げた業績	<p>業績経験レポートを提出してください。</p>
11	監理技術者証を取得した場合	<p>監理技術者証を取得した場合は、Ⅷ.受賞・資格取得・その他で提出できません。Ⅰ.技術情報吸収等で実講習時間を申請してください。</p>
12	展示会に出席した場合	<p>Ⅲ.自己学習として、レポートを提出し、実時間を記入してください。</p>